



こんな薬、飲んでませんか？

## 持病の薬と歯科治療



持病の治療に欠かせない大切な薬が、「歯科治療の邪魔をすることがある」ってご存知でしたか？

お口とからだの病気は、最近までそれほど「関係がない」と思われがちでした。でも実際にはお口とからだはつながっていて、持病の治療の影響をお口も受けています。そしてくすりによっては、歯科治療を受ける際に副作用を生んでしまうことがあるのです。

### こんなお薬、飲んでませんか？



#### ・抗血栓薬・・・ワーファリン、パナルジン、バイアスピリンなど

血液サラサラの薬として知られる抗血栓薬は、現在日本国内で100万人が飲んでいるといわれる大変ポピュラーな薬です。脳梗塞、心筋梗塞などを防ぐため血液をサラサラにするすぐれた効果を持っています。

#### ・ビスフォスフォネート製剤 (BP 剤)・・・アクトネル、フォサマックなど

骨粗しょう症の治療薬として大変評価の高い薬です。骨密度のアップに飲み薬が用いられ、乳がんや前立腺がんなどの骨転移を防ぐ薬として注射薬が用いられるなどしています。

#### ・ステロイド薬・・・プレドニン、プレドニソロンなど

ステロイド薬は、腎臓の近くにある副腎から出る副腎皮質ホルモンと同じ働きをする薬です。免疫反応を制御し、炎症やアレルギーの痛みやかゆみを穏やかにしたり、喘息やリウマチなどのつらい症状を楽にする薬として使用されています。

持病の治療にとっては大切な薬でも、歯科治療の際**血が止まりにくい**、**細菌感染**、**骨壊死**など起こってしまう事があります。

歯科の治療は、患者さんが思っている以上に持病や持病の治療薬に影響を受けます。

歯科医院受診の際も「お薬手帳」をお持ちいただくと正確な情報を知ることができ、より安全な治療を行うことができるのです。

### 【骨壊死】



### 安全な治療を提供するためにご協力をお願いします！

お薬手帳をお持ちください  
他科で受診中の治療について教えてください  
自己判断でお薬をお休みしないでください

